

S SWE 活動報告

平成 30 年 7 月 23 日（月）～ 27 日（金）

夏休みに入り、新潟県南魚沼市で合宿を行ってきました。学校から現地への楽器運搬から始まり、積み下ろし作業、練習セッティング等、例年になくスムーズに行うことができました。吹奏楽では皆の心を一つにして、一緒に音楽を奏でることがとても大切です。そういった点からも、誰一人手を抜くことなく動こうとしている姿は頼もしく感じました。

練習は、午前【音程チェック、合同パート練習】、午後【全体合奏】を基本として行いました。今回とても充実していたのが“音程チェック”と“合同パート練習”。音程チェックは、全員の音程を全てチェックし、個々のレベルアップが出来ました。チューナーを基準にして行ったため、結果が目に見える形で表れ、部員達も具体的な目標に向けて練習できたのが大きいと思います。段々と良くなっていく結果に喜ぶ姿が印象的でした。また、その裏側で部員同士がアドバイスし合っている姿や、先輩が後輩の面倒を見て一緒に一喜一憂している姿もありました。

合同パート練習では、今までの合奏やスコアを読んで学んだことを踏まえ、自分達で声を掛け合ってパートを越えて合わせをしました。様々な意見が飛び交い、とても充実した時間を過ごせていたように思います。特に3日目の練習では、午前だけでは物足りず、午後も合同パート練習をしたいとの申し出があり、部員達の本気度が伺えました。

合奏では、円合奏や席替え合奏など、様々な視点から互いの呼吸を感じたり音を聴いたりする練習をしました。これだけではありませんが、とても充実した内容になりました。なにより、体調不良者も出ず、終始元気にやり通せたこと・部員達から満足気な声がたくさん聴けたことが良かったです。

そして、今回もうひとつ特筆したいことがあります。それは、保護者の方々から連日差し入れという形でご支援頂いたことです。保護者の方々は、常日頃から応援して下さいていることは皆重々承知です。しかし、今回のことがあり、改めて応援してくれる人がいることのありがたさや、支えてくださる方がいるから頑張れることが分かりました。これは、体調不良者が出なかった大きな要因の一つだと思います。また、心の支えとなって下さったことにも感謝致します。本当にありがとうございました。

コンクールまであと2週間となりました。皆様に吉報をお伝えできるよう、最後まで部員全員で全力を尽くそうと思います。

